

EXPRESSBUILDER

サーバ管理機能

EXPRESSBUILDER

1.概要

- Express5800 のセットアップは、EXPRESSBUILDER を使用してディスクアレイのコンフィグレーションや OS のインストール等を行う
- EXPRESSBUILDER は、Express5800 シリーズをセットアップするための各種ユーティリティを CD-ROM1 枚に統合し、セットアップの簡便さを実現している
- Windows NT Server 4.0 の自動インストールツールとして ExpressPicnic を提供
- サーバ管理ツールとして ESMPRO Server Manager/Server Agent を提供
- EXPRESSBUILDER の特長

(1)簡便性

各種ユーティリティが 1 枚の CD-ROM に統合されたため、運用 / 保管が容易

(2)正確性

自動的にハードウェア構成を判断して各種ユーティリティのパラメータが設定できる為、セットアップを正確に進めることが可能

(3)拡張性

各種ユーティリティを個別に操作できる為、詳細なセットアップが可能

2.EXPRESSBUILDER の主な収録内容

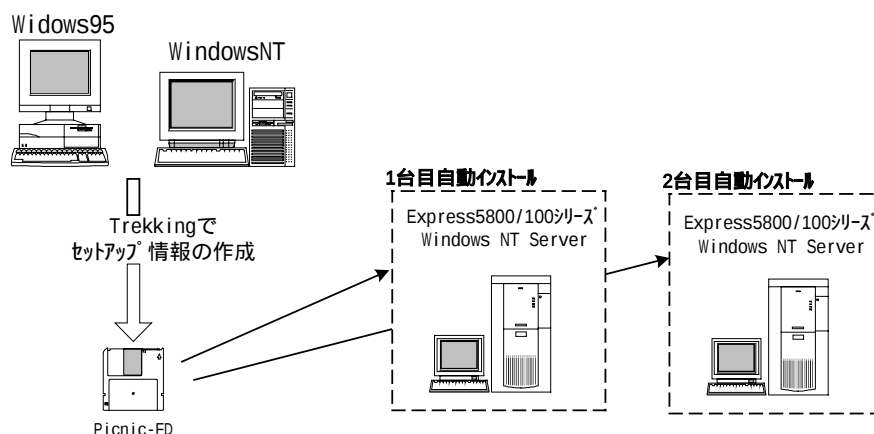
収録内容	説明
ExpressPicnic	Windows NT Server 4.0 の自動インストールツール
ESMPRO Server Manager/Server Agent	サーバ管理ソフトウェア
MWA(Management Workstation Application)	ネットワーク上の管理対象マシンをリモート管理するアプリケーション
Mylex DAC コンフィグレーションユーティリティ (DACCF)	ディスクアレイコントローラのコンフィグレーションユーティリティ
Global Array Manager	ディスクアレイコントローラを OS 上で管理・保守するアプリケーション
CLARiiON Array Manager	クラスタ用共有ディスクを OS 上で管理・保守するアプリケーション
システムコンフィグレーションユーティリティ (SSU)	ISA ボードの追加・変更時にボードの構成情報を登録するためのユーティリティ
オフライン保守ユーティリティ	障害発生時に障害原因を解析するためのユーティリティ
システム診断ユーティリティ (T&D)	本体の機能および本体と拡張ボードとの接続などを検査するユーティリティ
MS-DOS	MS-DOS 起動ディスクの作成用
WindowsNT OEM-DISK for EXPRESSBUILDER	WindowsNT の Express5800 用 HAL、ドライバ
NetWare NEC 差分 Driver	NetWare の Express5800 用ドライバ
サーバマネージメントボード(SMB)FW	サーバマネージメントボードのファームウェア

3.ExpressPicnic

- Express5800/100 シリーズ対応 Windows NT Server 4.0 自動インストールツール
- ExpressPicnic では、Windows NT Server 4.0 のセットアップ情報（マシン名、ネットワークプロトコル等）をセットアッププロセスの初期段階に入力する事でインストールを自動化し、オペレータの拘束時間を短縮できる。
- Trekking コマンド（セットアップ情報設定ツール）にて、予めサーバのセットアップ情報ファイルを FD(Picnic-FD)に作成し、Windows NT Server 4.0 のインストール時に読み込ませることも可能。大量導入時に活用できる。

設定内容を確認したい時は、Picnic-FD の内容を印刷することもできる。

* Trekking コマンドは Windows 95、Windows98、Windows NT 3.51、Windows NT 4.0 の動作する Intel 製プロセッサを搭載したコンピュータで動作可能。



4.セットアップ概要

EXPRESSBUILDER には 2 種類(簡易・カスタム)のセットアップ方法がある。

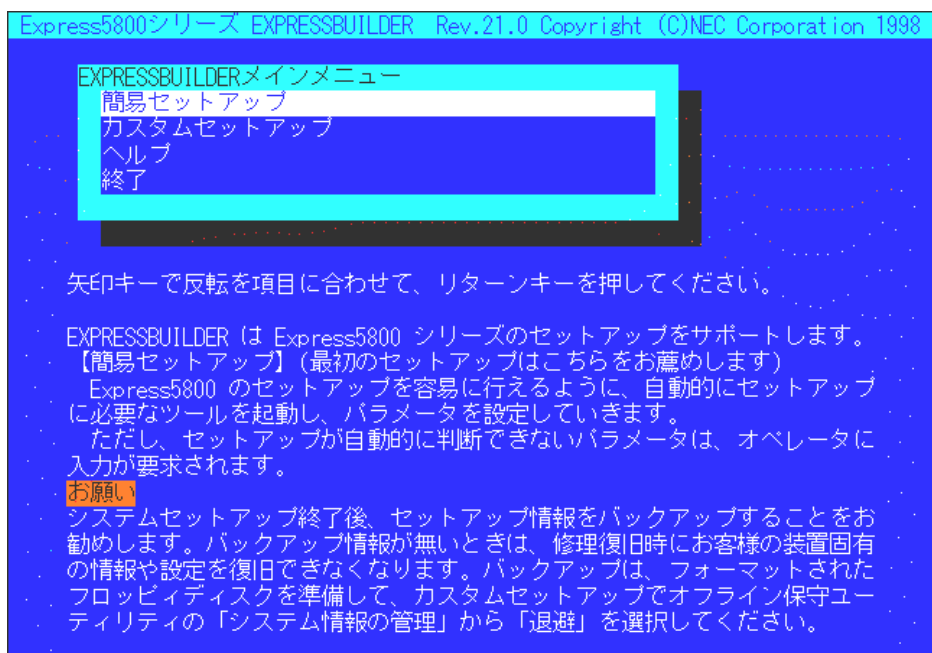
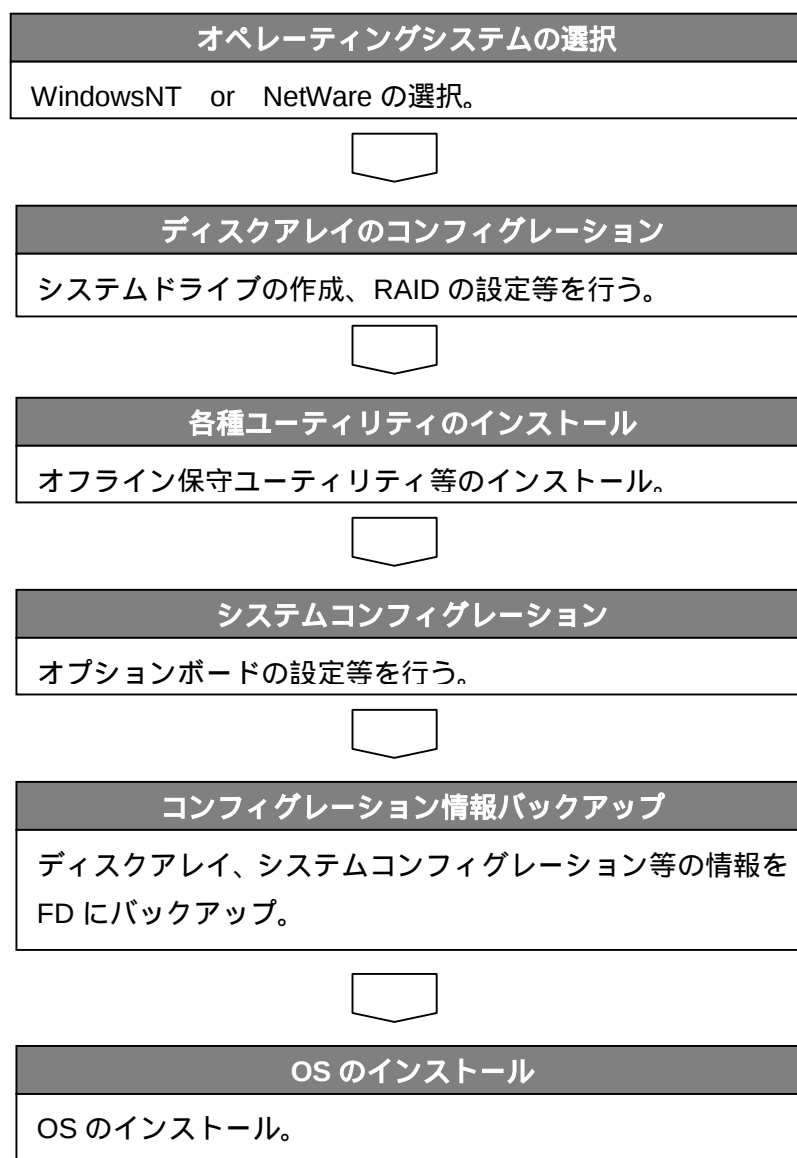
・簡易セットアップ

EXPRESSBUILDER は、Express5800 のハードウェア構成を検査しセットアップに必要なユーティリティを起動して、適切な設定を自動的に行う。

・カスタムセットアップ

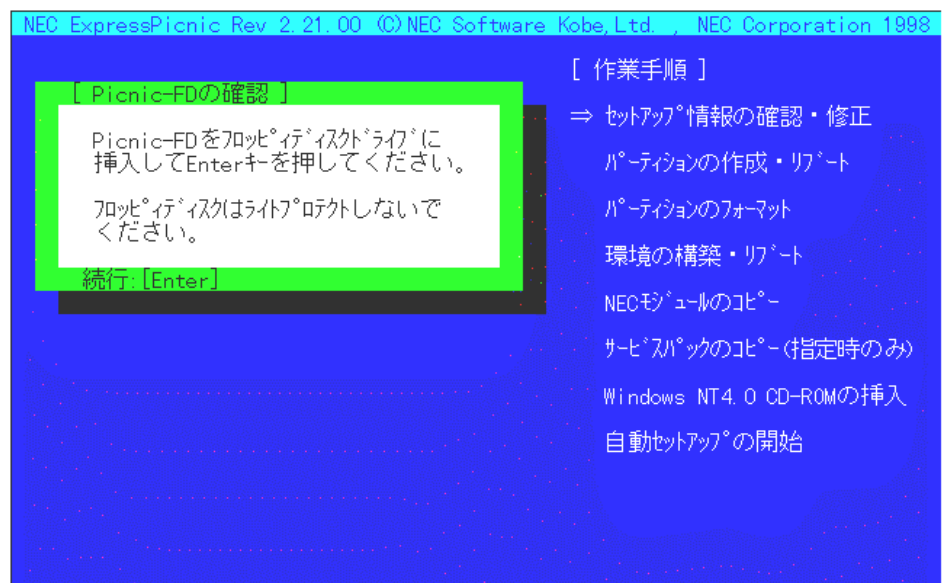
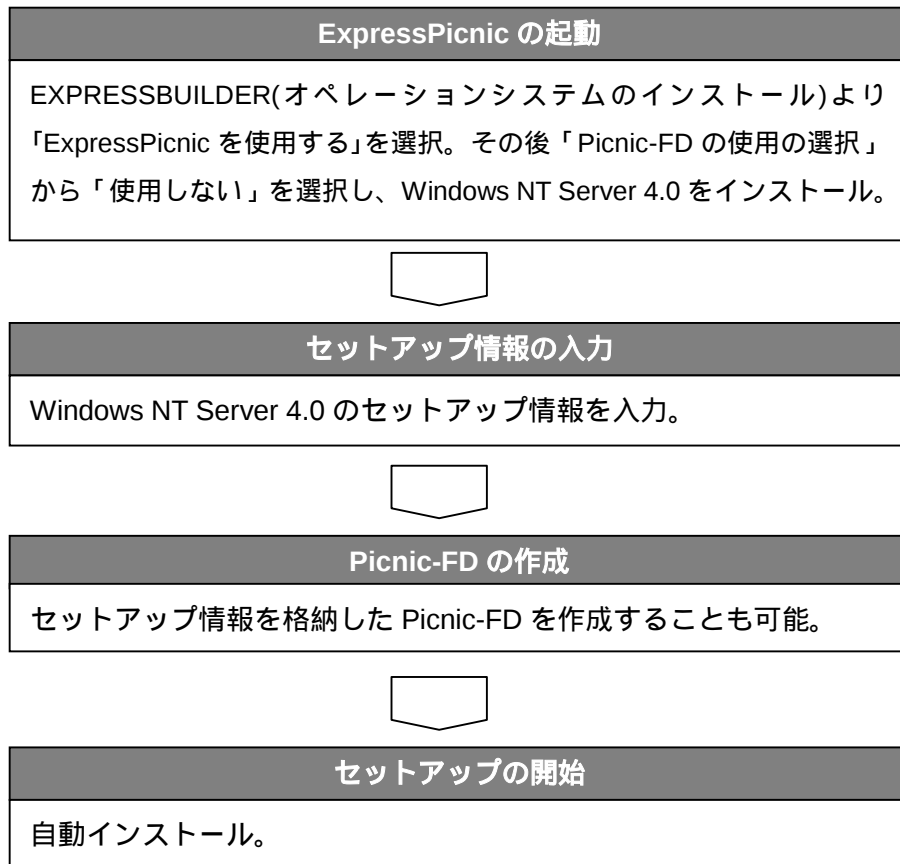
EXPRESSBUILDER に納められている各種ユーティリティを個別で起動し、手動にてセットアップを行う。また、システム診断やサポートディスクの作成等は、カスタムセットアップにて行う。

■ EXPRESSBUILDER セットアップ概要フローチャート



■ ExpressPicnic の使用方法

● 通常の場合



- 事前に設定情報を作成する場合

Trekking コマンドのインストール
Windows NT Server 4.0 のセットアップ情報ファイルを作成するためのツール(Trekking コマンド)を Windows95、Windows98、Windows NT 3.51、WindowsNT4.0 で動作するコンピュータにインストール。



セットアップの設定と Picnic-FD の作成
インストールした Trekking コマンドで、WindowsNT 4.0 のセットアップ情報を設定し、Picnic-FD を作成。



ExpressPicnic の起動
EXPRESSBUILDER(オペレーションシステムのインストール)より「ExpressPicnic を使用する」を選択。その後「Picnic-FD の使用の選択」から「使用する」を選択し、Windows NT Server 4.0 をインストール。

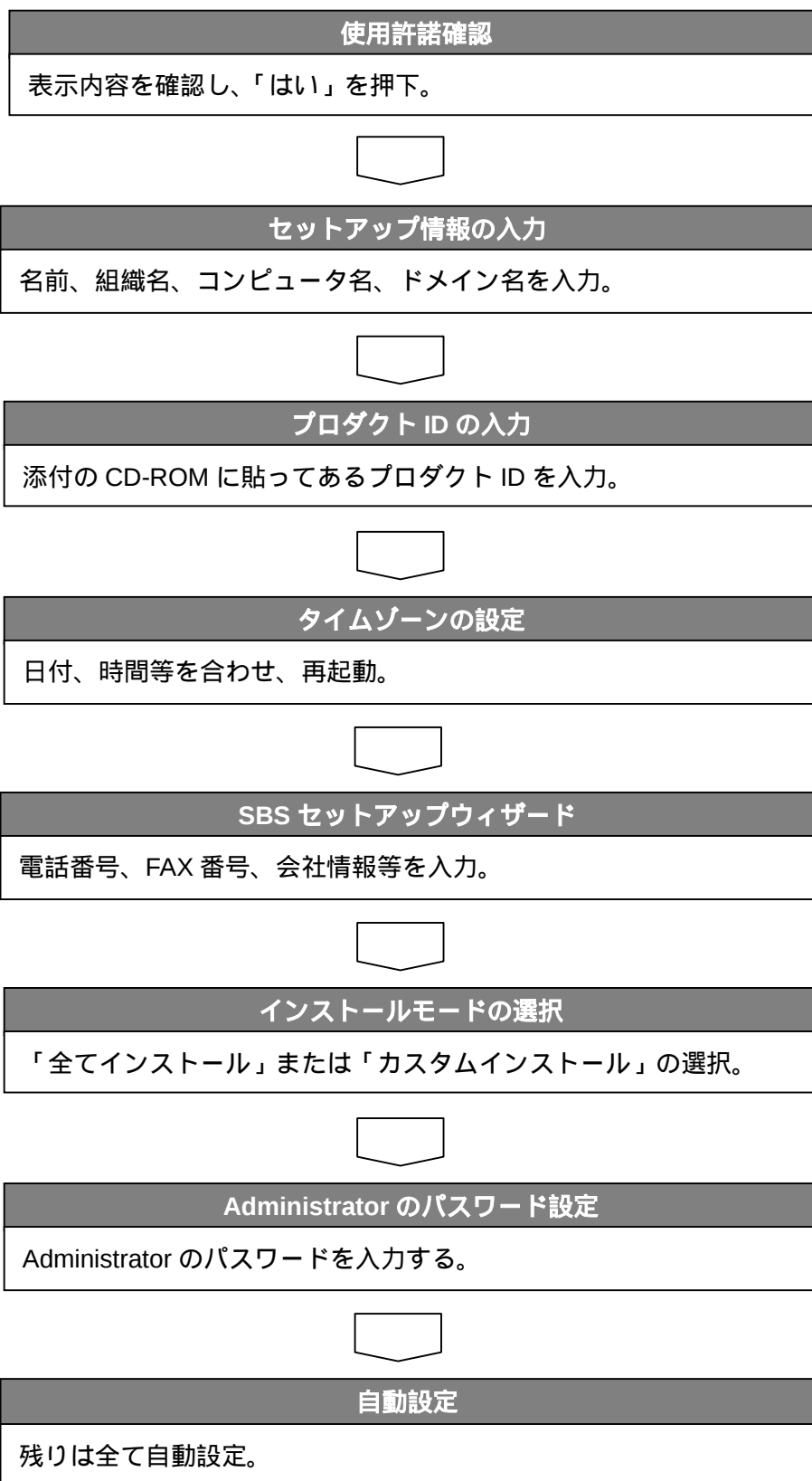


セットアップ情報の確認 / 修正
セットアップ情報の内容を確認及び修正。



セットアップの開始
自動インストール。

■ SBS プレインストールモデルのセットアップ概要フローチャート



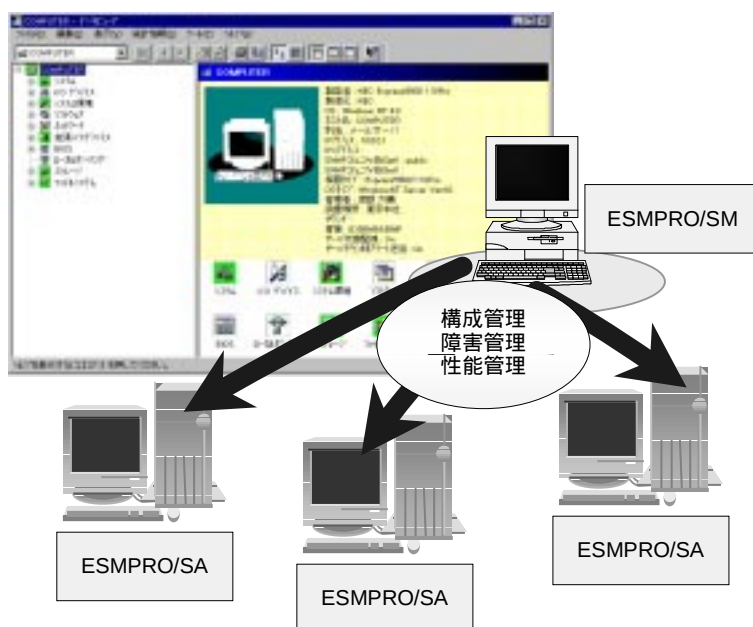
5.注意事項

- ・ EXPRESSBUILDER を実行する場合、モデル名が同一であっても一部対応していない装置があるため、必ず CD-ROM が添付されていた装置においてのみ実行する事。
- ・ ExpressPicnic は Microsoft BackOffice Small Business Server 4.0 は未サポート。

サーバ管理機能

1. ESMPRO/ServerManager-Agent

- サーバ管理ソフトウェア ESMPRO/ServerManager,ESMPRO/ServerAgent を本体にバンドル。
- ESMPRO/ServerManager(ESMPRO/SM)は、サーバの稼働状況、構成情報管理、障害管理などのサーバ管理機能とこれらの情報を参照するためのビューアを提供する。
- ESMPRO/ServerAgent(ESMPRO/SA)は、Express5800 に装備された障害監視機能およびオプション製品のサーバマネジメントボードと連携して、稼働状況、障害検出等の監視機能を提供する。ESMPRO/SA で監視する情報は、ESMPRO/SM から参照できる。



ESMPRO/SM,SA を利用して、1 台の管理 PC のもとでネットワーク上の複数台の Express5800 を一元管理する事ができる。サーバで障害が発生した場合、それを自動検出して管理者に通報する。また、障害箇所や障害内容、対処方法を表示するので、迅速な復旧作業が可能となる。更に、CPU 負荷率やメモリ使用量などのサーバ稼働状況を監視する事もできる。

2. ESMPRO 製品との連携

- ESMPRO/SM は、統合ビューアであるオペレーションウインドウ、サーバの情報を参照するデータビューアとサーバ監視のログを記録するアラートビューアで構成。
- ESMPRO 各製品を Express5800 にインストールすると、オペレーションウインドウを中心として ESMPRO 製品との連携を実現。また、ESMPRO 各製品で発生したイベントもアラートビューアのログとして残る。

< 連携する主な製品 >

- ・ ESMPRO/ServerManager
- ・ ESMPRO/ServerAgent
- ・ ESMPRO/EnterpriseManager
- ・ ESMPRO/Netvisor(HUB 管理/ルータ管理/etc)
- ・ ESMPRO/ClientManager
- ・ ESMPRO/AlertManager
- ・ ESMPRO/JMSS
- ・ ESMPRO/FileTransfer
- ・ ESMPRO/Relay
- ・ ESMPRO/DeliveryManager
- ・ ESMPRO/UPSController
- ・ ESMPRO/AutomaticRunnnigController
- ・ ESMPRO/PerformanceManager
- ・ ESMPRO/PrintManager

- ・ ARCserve for WindowsNT
- ・ InocuLAN for WindowsNT